

(P1の続き)

じて経験することができました。

エボラ以外にも、ブラジルで流行した蚊媒介性ウイルスによるジカ熱やナイジェリアで毎年発生するラッサ熱の検査法の開発にも携わりました。国際的な活動は、感染症が流行する国の研究者と共同研究という形で一緒に取り組むことになる訳ですが、感染症を制御する、科学的な成果を上げる、という共通目標のもと、互いに協力しながら研究を進めていきます。プロジェクト終了後も交流を継続し、その協力関係を活かして次の新たな研究プロジェクトに発展させていくこと、それが研究の一つの醍醐味だと感じています。

残念ながら、ミステリーハンターにはなりませんでしたが、大学での研究を通じて色々な国を訪れ、その国の研究者と仕事ができている。感染症研究に長い歴史を持ち、多くの国々とネットワークを築いてきた長崎大学のおかげ、とまでは言いませんが、その恩恵を多分に受けていると感じます。研究あるいは教育を通じて、次世代の研究者や研究に興味のある若い方々にも長崎大学の強みを生かした研究とその醍醐味を伝えていきたいと思えます。

ミッションステートメントについて

前号でお知らせいたしました、長崎大学高度感染症研究センター(以下、当センター)のミッションステートメントについて全文をご紹介します。

ミッションステートメント

感染症は人類の生命や健康を脅かすだけでなく、経済や社会機能の破綻をも引き起こす大きな脅威である。

高度感染症研究センターは、高病原性ウイルスによる感染症や新興・再興感染症の克服を目的に、国内外の研究機関及び研究者と連携し、センターの附属BSL-4施設及び海外研究拠点を活用するとともに、地域社会との共生を図りつつ、下記の目標を達成することを使命とする。

- ・ウイルス増殖・病態発現機構の解明
- ・診断・予防・治療法の開発研究
- ・世界規模でのウイルスの生態解明
- ・世界の感染症研究を先導する研究者の育成
- ・高度な知識及び技術を修得した安全意識の高い専門家の育成

当センターでは、上記の5項目を我々が果たすべき使命として掲げ、感染症の克服に向けた研究に取り組んでまいります。

前回お知らせしたとおりこのミッションステートメントの日本語版・英語版の銘板を作製し、令和8年1月より当センター本館1階の玄関に掲示しております。これら銘板の上にはBSL-4施設の軍事目的利用を認めない旨の学長宣言も併せて掲示してあります。



設置の様子



お問合せ先 ご意見・お問い合わせはこちらまでお気軽にご連絡ください。

長崎大学高度感染症研究センター

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号

フリーダイヤル 0120-095-819

より詳しくお知りになりたい場合は、ホームページをご覧ください。

ファックス 095-800-4301

ホームページアドレス <https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp>

